

事務事業分析シート（令和2年度）

No1

事務事業コード	10-04-01	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 業務 <input type="checkbox"/> 財務 <input type="checkbox"/> 人事					
事務事業名	荒川遊園管理運営費	部課名	子ども家庭部荒川遊園課	課長名	野口			
		担当者名	岩瀬	内線	473			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（2年度）	01-01-01	荒川遊園管理費						
	01-02-01	荒川遊園事業費						
	01-03-01	荒川遊園営繕費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業 (<input type="checkbox"/> 2年度 <input type="checkbox"/> 元年度)		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 令和 25 年度		根拠	都市公園法				
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		法令等	荒川区立公園条例及び同条例施行規則				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	Ⅱ	子育て教育都市					
	政策	03	子育てしやすいまちの形成					
	施策	01	多様な子育て支援の展開					
目的	都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。							
対象者等	小さなお子様のいるファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外からの来園者							
内容	【荒川遊園の概要】 総面積54,319㎡ A地区…31,466㎡（有料地区）、B地区…5,234㎡（子どもプール）、 C地区…14,141㎡（地下駐車場）、D地区…3,479㎡（荒川遊園拡張地） 【事業の内容】 ①遊園地の管理運営（令和4年春まで休園中） 大型遊戯施設、小型遊具、エア遊具、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店、水あそび広場、アリスの広場 ②子どもプールの管理運営及びプール休止期間における施設の有効活用 ③都市公園の維持管理等 ④子育て支援施設 授乳室、おむつ交換所							
経過	平成元年4月 遊園の管理運営業務をACCに業務委託 平成3年4月 全面リニューアルオープン 平成18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定。 平成20年2月 ふあふあ事故発生 平成20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成21年9月～平成22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成23年3月11日、東日本大震災発生。すべての遊具を運行休止、自動販売機の販売中止 平成23年4月 指定管理者制度を廃止、子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成23年9月21日～ 大型遊具全機種について通常運行再開 平成29年4月～ 荒川遊園改修基本計画・基本設計 平成30年12月～ リニューアル工事着手のため一時休園							
必要性	荒川遊園は、区の貴重な観光資源の一つであり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤 <input type="checkbox"/> 臨時職員 ） 委託業務：遊戯施設運転・保守、入園案内、動物飼育、釣堀運営、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設運転管理、子どもプール運営、キャラクターショー							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			29年度	30年度	元年度	2年度見込み		目標値(8年度)
	①	入園者数（人）	417,549	313,266	0	0	450,000	年間入園者総数（30年12月から休園中）
	②	遊戯施設利用者数(人)	1,549,312	1,058,242	7,623	5,000	1,800,000	大型・小型、ふあふあ利用者(1・2年度はミニ乗り物広場のみ)
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
2年度		3年度						
重点的に推進	重点的に推進	荒川区の最大の観光資源であり、子育て支援施設の拠点である荒川遊園の改修を成功させることは極めて重要である。						

予算・決算額等の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
予算額	300,605	303,952	381,546	410,389	1,051,638	1,051,300	1,310,903
決算額(2年度は見込み)	280,219	289,766	353,903	338,363	855,365	891,659	1,310,903
実績の推移	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事項名(2年度は見込み)							
入園者数(総数[人])	380,291	391,201	404,002	417,549	313,266	—	—
子どもプール(人)	25,133	25,730	23,930	21,069	25,015	16,035	—
遊戯施設利用者数(千人)	1,361	1,415	1,498	1,549	1,058	8	5
釣堀(人)	38,123	40,438	43,000	42,806	32,221	0	0

予算・決算の内訳								
平成30年度(決算)			令和元年度(決算)			令和2年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	各種教室講師謝礼	1,682	需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	13,689	需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	21,094
需用費	光熱水費、食糧費、一般需用費	29,535	需用費	園内設備小破修繕	9,952	需用費	園内設備小破修繕	9,998
需用費	園内設備・遊具小破修繕	16,368	使用料	複写機、AED、券売機リース	487	使用料	AED、券売機、物置リース	802
役務費	子どもプール水質検査	28	委託料	清掃、樹木管理、プール運営等	51,413	委託料	清掃、樹木管理、プール運営等	62,690
委託料	入園案内、地下駐車場運営委託等	73,006	委託料	小型遊具、キャラクターショー等運営	11,903	委託料	小型遊具、キャラクターショー等運営	14,632
委託料	改修工事に伴う実施設計等	101,651	委託料	建築物実施設計、工事監理委託	90,243	委託料	工事監理、室内遊び場整備等	39,919
工事請負費	荒川遊園改修工事	511,173	工事請負費	荒川遊園改修工事	709,268	工事請負費	荒川遊園改修工事	1,087,590

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	30年度	元年度	差額		30年度	元年度	差額	
行政費用	給与関係費	20,342	18,912	▲ 1,430	地方税	0	0	0
	物件費	219,586	81,048	▲ 138,538	国庫支出金	558	0	▲ 558
	維持補修費	21,340	11,736	▲ 9,604	都支出金	0	1,948	1,948
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,711	31	▲ 1,680	使用料及び手数料	191,617	12,037	▲ 179,580
	減価償却費	88,654	85,651	▲ 3,003	その他	8,802	449	▲ 8,353
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	200,977	14,434	▲ 186,543
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,201	1,100	▲ 101	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 281,293	▲ 316,921	▲ 35,628
	その他行政費用	129,436	132,877	3,441	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	482,270	331,355	▲ 150,915	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 281,293	▲ 316,921	▲ 35,628
特別費用(g)	2,411	22,787	20,376	特別収入(f)	1,986	0	▲ 1,986	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 425	▲ 22,787	▲ 22,362	当期収支差額(e)+(h)	▲ 281,718	▲ 339,708	▲ 57,990	

備考 30年12月からの休園に伴い、元年度は物件費・維持補修費が大幅に縮小された。行政収入の使用料及び手数料の減は、休園に伴い入園料や遊戯施設使用料が減ったためである。その他行政収入の減は休園に伴い、遊園内売店の売り上げ手数料がなくなったためである。

- 問題点・課題
- ① 新機種の大型遊戯施設導入、夜間イルミネーションの導入など、ワクワク感を高める内容を設計に反映し、各種リニューアル工事を進めていく必要がある。
 - ② 巡回等による自主点検や法定点検、速やかな修繕を実施する他、荒川遊園見守り隊との連携により施設の安全性を高めていく必要がある。
 - ③ 即時性のある情報提供のほか、多様なイベント等を実施し、改修期間中においても園のPRを継続していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和元年度に取り組む具体的な改善内容	令和元年度に実施した改善内容および評価	令和2年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	イベント・事業の会場となるアリスの広場や子どもプール等見回りを重点的に行い、安全な利用環境を維持していく。	日常点検等で発見した施設や路面等の破損は、速やかに修繕し、利用者や通行人の安全な利用環境を維持できている。	引き続きアリスの広場やプール等の日常点検を行い、安全な利用環境を維持する。
②	キャラクターショーを年10回開催するとともに、プールサイドで小型遊具を運営することで、休園中の誘客促進及びPRを図る。	子どもプールの開場、年10回のキャラクターショーの開催やミニ乗り物広場の運営を行い、休園中においても荒川遊園をPRできた。	感染症予防の対策を講じた上で、ミニ乗り物広場などの運営を行い、荒川遊園の魅力を発信していく。
③	荒川遊園改修工事を引き続き進め、令和3年夏のリニューアルオープンを目指す。	工事所管課や施工業者との連携を密にとり、荒川遊園改修工事を進めている。	工事所管課や施工業者との連携を密にとり、令和4年春のリニューアルオープンを目指す。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
23区唯一の区立遊園地	

議会議決要旨 【平成28年度2月会議】①改修期間中は全面休園か、一部休園かについて精査を、②一球さん号、スワンの池、クラフトハウスの有効活用を、③植栽、花のコンテナの全面的見直しを、④イルミネーションをするべき、⑤夜間営業に向けた営業時間の見直しを、⑥リニューアルに合わせて入園料の改定を、⑦来園者を遊園周辺へ回遊させるべき、⑧旧小台橋小跡地の遊園拡張地を子育て支援の森に